

熱中症予防訪問 途中経過報告

守谷市地域包括支援センター運営協議会
R3-2 (R3. 7. 27) 資料No.2 別紙1

守谷市南部地域包括支援センター

○令和3年6月21日(月)～7月15日(木)訪問分

1. 訪問実績

	在宅 (確認済件数)	不在	(再掲) 民生員との連絡	計
独居	75件	32件	6件	107件
高齢者のみ世帯(世帯)	33件	5件	0件	38件
(人数)	63人	10人		73人
総計	108件	37件	6件	145件

2. 訪問後の経過(世帯でのカウント)

異常なし	88件	(再掲)	
再訪問/電話 予定	20件	介護保険申請	0件
		市役所・関係機関連携	0件
		・連携内容/連携機関	

3. コロナワクチンについて

	接種済・ 予約済み	予約未	確認できず	合計
コロナワクチンの接種状況	118人	14人	6人	138人

● 訪問時の対象者の様子・反応や気づき

- ・けやき台地区では、緊急通報システムを導入している家が多かった。
- ・昨年と比べると訪問の受け入れが良い家が多く、広報の効果や包括の知名度が上がったためかと思われる。しかし包括の場所までは覚えている人は少なかった。
- ・在宅している家が多く、コロナ対策のためにサロンや習い事に行くことを控えているが、歩けなくなることや動けなくなることや心配して散歩などの自分でできる運動を意識的に行っている人が多かった。
- ・80歳を境に運転免許を返納して、歩いて買い物に行くようにしたり生協を始めるなど生活を変化させている家庭が多く見られた。
- ・受け入れが良い家は多くなっているが、来訪を拒否する家と両極端な印象を受ける。

● 訪問して課題と感じるところ

- ・ひとり暮らしの方で介護保険の申請を勧めるために家族の連絡先を確認したくても、難しいことがある。
- ・ごみを捨てられない、または集めてしまうなどで生活環境が良くない方の支援方法について検討していきたい。

